

令和3年2月17日

関係機関・団体長様

愛媛県病害虫防除所長

病害虫防除技術情報（第5号）について（薬剤の補足説明）

このことについて、令和3年1月21日付け病害虫防除技術情報（第5号：コナジラミ類の薬剤感受性の検定結果）について、下記のとおり補足しますので、ご注意の上、今後の防除指導方よろしくお願いたします。

記

1 供試薬剤の作用機作

薬剤名	農薬分類 (IRAC)	作用機作
モスピラン顆粒水溶剤	4A	神経系に作用。食毒・接触毒。速効的。浸透移行性が高い。
トランスフォームフロアブル	4C	神経系に作用。食毒・接触毒。速効的。浸透移行性あり。
ディアナSC	5	神経系に作用。食毒効果が高い。速効的。浸透移行性あり。
コロマイト乳剤	6	神経系に作用。食毒効果が高い。速効的。
アフアーム乳剤	6	
チェス顆粒水和剤	9B	神経系に作用。吸汁・歩行・飛翔・定着を速効的に阻害するが、致死までは時間がかかる。葉表から葉裏への浸達性あり。定着している幼虫に対する活性は低い。
コルト顆粒水和剤	9B	
カスケード乳剤	15	キチン生合成を阻害。幼虫は正常な脱皮ができず死亡。産下した卵のふ化を阻害。遅効的。
マッチ乳剤	15	
ベネビアOD	28	神経系及び筋肉に作用。食毒効果が高い。葉表から葉裏への浸達性あり。致死まではやや時間がかかるが、摂食・吸汁行動は速やかに停止させる。
ウララDF	29	神経系に作用。遅効的。浸透移行性が高い。
グレーシア乳剤	30	神経系に作用。速効的。葉表から葉裏への浸達性あり。

2 チェス顆粒水和剤及びコルト顆粒水和剤の留意点

今回供試した2齢幼虫は定着後となるため、これら2剤の大きな特徴である定着阻害効果を発揮することはできません。このため、安定した効果を発揮可能な試験条件ではありませんので、検定結果の利用に際してはご留意ください。